大浦の丘

本年度テーマ「絆づくりと確かな学力」

長崎市立大浦中学校
学校便り　NO.11
令和５年３月２４日発行
文責：校長　竹市保男

キャッチフレーズ：「絆づくりは、明るく元気で大きなワンストップ挨拶から」

「令和4年度　修了式」

令和４年度を締めくくる修了式を実施しました。校長として１・２年生にこんな話をしました。

この３学期は、令和４年度を締めくくる大切なまとめの学期でした。これまでに君たちがやってきた努力や頑張りの成果が問われる学期だったと思います。

皆さんは、この１年間を振り返ってみて１年間の成果はどうだったでしょうか。この機会に、それぞれが自分自身を振り返り、良いところと改善すべきを整理し、次年度へ向けて取り組んでほしいです。

さて、各学年の代表者に、修了証書を手渡しました。そこには、皆さんの１年間の学びや、成長の跡が記されています。通知表には、担任の先生方が言葉を選びながら、すごい時間をかけて書き上げた皆さんへの心の込もったメッセージが綴られています。何度も読み直し、その思いを感じてほしいと思います。そして、担任の先生が、あなた達に伝えたいことを読み取り、次年度に生かしてほしいと思います。

今年度も、コロナ禍の影響で制約が多い一年でした。それでも、体育大会や合唱祭に保護者の皆さんや来賓の方々がたくさん来校され、皆さんの頑張りを見てもらうことができました。本当によかったです。

例えば、体育大会での力強く、きびきびした行進や行動。そして、元気で大きな挨拶は、とても立派でした。元気で一生懸命頑張る皆さんの姿を見た地域の皆さんは、称賛の嵐でした。

次に、今年度から始まった合唱祭です。それぞれの学年が、朝・昼休み・放課後をつかいながら全力で歌の練習をしていました。練習する中で、トラブルもたくさんあったのではないかと、思いますが、舞台に上がって奏でた合唱は、各学年ともに、見ている人の心を打つ素晴らしい歌声ばかりでした。クラス全員が一つになって力を合わせる力、お互いを尊重し合いお互いを称え合う心が育った成果だったと思います。校長先生が皆さんに身に着けてほしい力。当事者意識が育ってきた証でもあると思います。コロナ禍で、いろんな意味で制約が多かった１年でしたが、その困難を乗り越えて今日の日を迎えられたことをうれしく思います。

体育大会や合唱祭をはじめとして、多くの行事から培った経験や当事者意識を、次年度にさらに生かしてほしいと思います。

さらに、先日の「卒業式」で、卒業生は、気持ちよく卒業できたと思います。皆さんの心のこもった飾りつけや真剣な取組のおかげです。皆さんの協力に感謝しています。ありがとうございました。

最後になりますが、３年生が卒業してしまいました。２年生の皆さんは、次年度の大浦中のリーダー（顔）になります。覚悟はできたでしょうか。１年生は、新１年生の良き先輩としての自覚が、高まったでしょうか？

令和５年度の大浦中は、皆さんの力にかかっています。

皆さんがリーダーとなった新生大浦中学校をお願いします。よろしく頼みます！！

そして、皆さんにとっての令和５年度が、充実した１年になることを心から願っています。